

2021 年度第 2 回情報教育研究委員会データサイエンス分科会議事概要

I. 日 時：令和 4 年 3 月 22 日（火）14：00～16：00

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 出席者：渡辺主査、松尾委員、今泉委員、西川委員、後藤委員、大原アドバイザー、辻アドバイザー
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事内容

1. 海外(シンガポール、アメリカ、フランス)データサイエンス教育状況のプラットフォーム掲載について

- ・ 海外大学の教育動向・事情について各大学の Web 情報を中心に整理をしたが、Web に掲載するためには、解説的な言葉で整理し、その中で適切に引用して提示する必要があることが説明され、Web 情報中心に収集した資料を再整理することにした。
- ・ 整理のポイントとして、表現はレビューの形で、ここではこのようなことが言われている、どのような観点からみているかなどで整理することではどうか。Web 情報を中心に調査して、概要を掲載する、学位プログラム中心にまとめた、メジャープログラム（主専攻）として展開しているなどの表記にして整理してはどうか。
- ・ 大学院のカリキュラム情報もあるが、一旦は大学中心に整理し、4 月中旬を目途にとりまとめを進めることにした。

2. ワークショップ形式での情報交流会実施の計画について

- ・ 委員から、「データサイエンス・AI 授業実践研究のための FD ワークショップ案」が提示され、開催趣旨、開催形態、開催時期・回数、内容などが説明された。
- ・ 方向性として、私学助成関連や AI 戦略などからワークショップの意味付けを行うか否かが意見されたが、特に理由付けの解説は求めないで良いのではないかと判断がされた。
- ・ 各大学が全学的にデータサイエンス教育を実施するために、授業の一部を何らかの形で補う方法を検討できる提示や議論ができないか。
- ・ ワークショップをオンラインで開催した後に継続目的に、例えば Slack を利用して関連動画、資料、授業案などを掲載し公表してはどうか。
- ・ ワークショップの構成は、講演 1 本と意見交換を行う形で、年数回の開催を考えてはどうか。提示の講演案の中から順に紹介することを検討してはどうか。
- ・ 具体的には、「文系学生への AI 入門コース」（仮）、「文系単科大学におけるデータサイエンス教授法試論」（仮）の内容を確認し、順番に進めることが確認された。また、年間 2 回程度の開催として、6 月と 8 月を候補で検討することにした。

V. 今後のスケジュール

次回の分科会は、4 月 25 日に開催し、ワークショップの開催について継続検討することになっている。